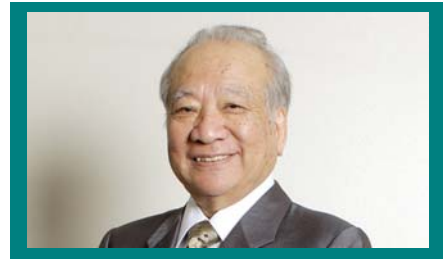


2 1 世紀の日本のかたち（17）

-- 歴史遺産の保存・再生について - 東京の姿形について考える〈その4〉 --



戸沼幸市
〈(財)日本開発構想研究所 理事長〉

1. 鯉のぼりのある日本の空の風景

風薫る五月、桜前線は北上しましたが、代わって日本のあちこちに空気を一杯に吸った真鯉、緋鯉が泳ぎました。鯉のぼりは江戸時代の町人達の子らの成長を願い春風を捉えて造形化した見事な工夫です。



歌川広重「名所江戸百景 48景 水道橋駿河台」

東京の空にも、以前は鯉のぼりを多く見かけたものですが、近頃ではめっきり少なくなって、ビルの屋上のつくつくとした金属棒にとって代われ、風景はテレビやケイタイの中に小さく入ってしまいました。

江戸期の風景画家（浮世絵師）の広重も「名所江戸百景 水道橋駿河台」に、端午の節句の大きな鯉のぼりを画いています。画面一杯の真鯉を前景に神田川を見下ろし、江戸城の本丸、江戸の町、そして遙かに駿河国の富士山がパノラマとして広がる眺望点からこれを画いているのです。

広重の眺望点は、水道橋から御茶の水橋の方へ外堀通りを上っていくと、左手に崖地を巧みに利用した60m角ほどの小さな公園があるあたりです。これが文京区立元町公園です。

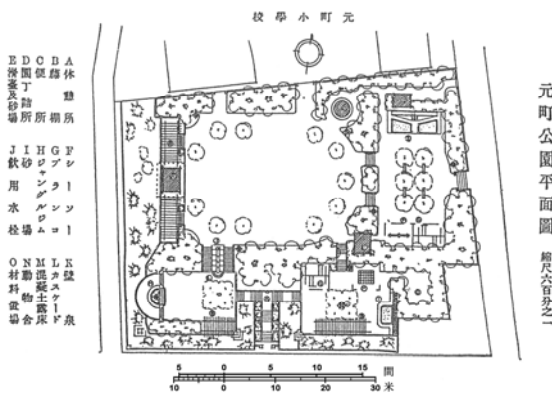
この元町公園は、大正12年（1923）の関東大震災復興期に、東京市が昭和5（1930）年、焼失区域の各小学校と一体に設置した52の震災復興小公園（帝都復興事業の一環）の一つで、現在原形を留めている唯一の公園です。また、先の大戦中、人びとの避難場所ともなり、コンクリート造の小学校と共にコミュニティの安全の核として大きな役割を果たしたこともよく知られています。

文京区立元町公園の位置



(資料:livedoor 地図情報)

建設当初のものと思われる元町公園平面図



資料:「元町公園案内」東京市役所

面積は約 3,500 m²。公園の構成として、南北2段に分かれ、北には自由広場と名付けられた主要広場と児童遊戯場があります。外堀通りに面する南には、南門から傾斜面につくられた階段を上って左右に西広場、東広場そして小広場が基壇状につくられています。これらの広場の縁取りとして、パーゴラ（藤棚）、大谷石やレンガ積みのカスケード（水段）、壁泉、露台があしらわれ、ヨーロッパ風の植樹などとともに、昭和モダンの造園の作風が今に息づいています。

2. 元町関東大震災復興公園の保存問題

この歴史公園を巡って、平成 18 年に保存か開発かの大きな論議が起きました。

当時の文京区政の課題として、湯島にある区立の体育館が老朽化し、周辺道路などの関係から現地での建て替えが難しく、元町公園のこの場所を新体育館としたいというものでした。建設候補地の元町公園は広幅員の外堀通りに面しており、体育館 4,000 m²の建て替えはもとより、高容積の建築が可能であり、プロポーザルのコンペ方式で民間資金を導入し、他の施設も合築して、大きな建築を造りたいというものでした。このため、区は代替の公園として、震災復興時公園と一体でつくられたコンクリートの小学校を壊して、小学校側にはほぼ同じ面積を持つ公園を新設することを考えました。

これまでの経緯として、元町小学校が廃校になり、専門学校に貸し出されていること、元町公園は高台につくられており、高齢者や障害者に不便なこと、プロポーザルを受ける段階で元町公園の歴史性をできるだけ継承したいとのことでした。

一定の区庁内の論議を経て、当時の文京区都市計画審議会にこの案件が諮問されました。私は当時たまたまその会長職にあり、一時、この論議の渦中に巻き込まれることになりました。

諮問「東京都市計画公園の変更（文京区決定）」について、審議委員16名（学識経験者3名、区議会議員7名、関係行政機関職員3名、区民公募3名）、区側幹事14名が足かけ2年、計4回の審議を重ねました。毎回多勢の傍聴者が詰めかけ、新聞記者も取材に来ておりました。

この諮問については、方々で話題になり、震災復興公園として貴重な元町公園を保存すべしとして、造園学会、土木学会、建築学会、建築史学会、そして市民団体が区長への要望書を出しており、会長宛てにもその写しや、直接の要望書が元町公園の関連資料とともに郵送されてきました。

通常、都市計画審議会に懸かる案件は区側により、区議会与党側との一定の了解のもとに提出されるものであり、審議会は手続き上、区長の諮問を受け、これを仕上げるという行政機能として位置づけられている面があります。

しかし、昨今、都市計画審議会に懸けられる案件は、住民、市民の相互の利害対立や、保存か開発といった大命題に対する考え方が対立することが多くなってきており、審議会委員の意見はしばしば対立します。

更に審議会は公開となり、傍聴者も多くなり、審議の一つひとつは自治体のホームページなどで公開され、情報公開が一段と進んだ状況下で審議が行われるのが一般的となりました。また、委員の発言は議事録に残ります。

この審議会での議論の中心となった点は、元町公園の「歴史的価値」「文化財としての価値」を具体的にどのように考えるかということでした。

これについては、東京都の史跡等整備委員会な

どの名勝庭園への指定の働きかけや、関連学会の保存要望の披歴があり、区側も都の同意書を得る時に提示した歴史性の継承について少なからず意を用い、これに対して「部分保存」という考え方でした。

当初、委員側も元町公園が震災公園としての歴史の意味があるものと理解していましたが、防犯上、保安上などの問題があり、必ずしも全体を保存するほどではないという意見が多いように見受けられました。

区側が建築計画のイメージとして、元町公園外堀通りの前面のみを残す案を示しておりました。

元町公園の保存については、この程度の部分保存でよいのかを、歴史公園の歴史性、文化性について、関係する区の二つの審議会—景観審議会、文化財保護審議会に意見を求めました。この間、元町公園が日本の歴史公園100選（都市公園法施行50周年等記念事業委員会）に選ばれました。

景観審議会は大勢として原案に反対ないし慎重論と意見は分かれていましたが、文化財保護審議会は全委員の意見として、原型保存を強く求めるものでした。

都市計画審議会の第二回と第三回の際に一つの政治的な動きがありました。諮問当事者である区長が健康上の理由から、2007年春の選挙に立候補されないことが公表されました。元町公園問題は区長選の争点の一つにもなりました。

流動的な政治情勢下では、区長選の結果を見たと審議会は判断をすべしという委員の意見もあり、まことに異例なことでしたが、三度、継続審議とすることとしました。

会長席から感じられる会の雰囲気としては、個々の委員の心境に変化が現れていましたが、賛否は相半ばしていました。

第四回都市計画審議会の冒頭、新区長より、「元

町公園等の課題については、今後区民や広範な方々からの御意見、御要望を伺いながら、区民にとって有益な計画となるよう取り組む。」という発言があり、私は会長としてこれを受けて、一定の議論の後、次の答申案を提示し意見の集約を図りました。

「元町公園に関する都市計画変更案について、慎重に審議を行い、審議会の各委員からも様々な意見が出されてきたところであるが、元町公園の歴史性、文化性について、さらに議論を深めるなど、なお検討すべき課題が残っている。本都市計画変更案は、社会的影響が大きい内容を含んでいるところから、さらに区民をはじめとする広範な方々から意見を聴取するなどして、再検討されたい。」

この答申案は全員一致で採択され、これによって元町都市計画公園の変更は差し戻しの形となりました。

3. 歴史遺産の保存、再生について

元町公園についてのこの審議案件は、保存と開発のわかりやすさ、公開審議、区民住民との対応、他の関連審議会との連携、都市計画制度そのものの在り方など、都市計画の教材ともなりうる好例でした。

4,000㎡に満たない小公園、震災復興公園の存廃を巡って、異例でしたが、四度の審議会となりました。審議期間中、縦割り行政の中であって、区景観審議会、区文化財保護審議会、そして、関係学会、区民、市民から数々の有益な情報の提供を受けました。区側の対応も含めて市民社会の良識というふうなものを感じた都市計画審議会でした。

基礎自治体の市区町村都市計画審議会には、まちのかたち、住民の安全安心の都市計画、住民・市民参加の都市計画に対して大きな責任が負わされています。

21世紀、日本の社会は、開発型から保全型に向かっていると考えられます。

東京に限らず、日本にはいろいろな意味を含んで多くの貴重な歴史遺産があります。時代精神が込められた建築や構造物、公園などが全国の都市や地域に点在しており、その土地の歴史、アイデンティティを体現しています。

これについては、保存か部分保存か、経済の活性化のために改廃して再開発するかの問題がついて廻ります。その時に当事者になった人々の歴史的文化的価値判断力が求められます。

一瞬の判断で事態は一変します。あやまちを少なくするためには十分な議論と、情報公開、そして、判断の場を取り巻く住民、市民社会の力量が事態を左右します。

そして、大事なことは保存したものの維持活用、再生について、住民側、自治体、関係団体などには責任が生ずることでもあります。

関東大震災の復興の生きた証拠である小さな公園の大きな役割を引き立てる生きた保存・再生を願うものです。

(2009年05月19日)

現在の文京区立元町公園



(平成 21 年 5 月 18 日撮影)

<参考資料リスト>

文京区元町公園現況調査報告書 (H18 年 11 月、文京区)

元町公園に関する文京区都市計画審議会議事録 第 1 回 (H18 年 7 月 26 日)

同上 第 2 回 (H18 年 12 月 22 日)

同上 第 3 回 (H19 年 3 月 19 日)

同上 第 4 回 (H19 年 8 月 6 日)

小さな公園の大きな役割 (「都市計画 2007.12」) 日本都市計画学会